

# 令和6年度 第1回目嗜好調査

## 1.目的

患者様の嗜好に合った満足度の高い病院食が提供できているかを調査する。

## 2.調査日時

令和6年6月5日(水)～6月7日(金)

## 3.調査対象者

常菜、妊婦常菜、学童常菜を提供している患者様

## 4.調査方法

アンケート用紙（自記式）を配膳トレーに添えて配布する。記載終了後の用紙はそのままトレーに戻して頂き、喫食後の食器と下膳車に入れて頂く。アンケートへの記入が難しい場合は、栄養士による聞きとり調査を行う。尚、未回収分は栄養士が病室に伺い、回収する。

## 5.アンケート回収率

アンケート回収率89%(63名)、有効回答率76%(48名)

## 6.結果

### (1) 対象者の属性

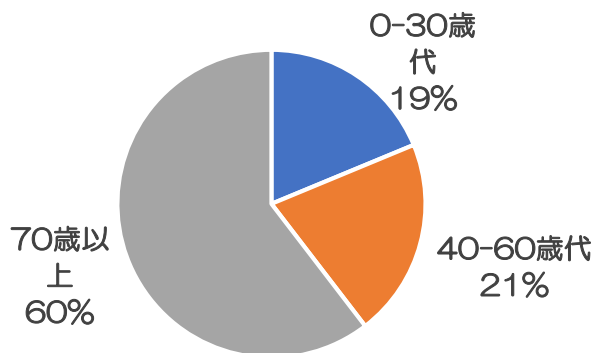


図1-1.対象者の年齢構成 (n=48)

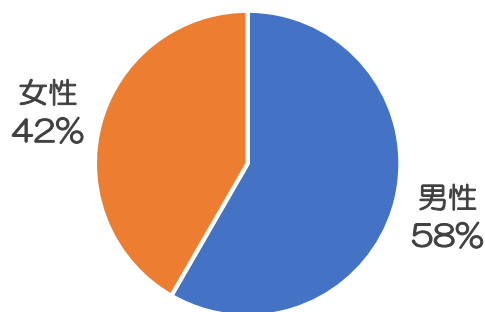


図1-2.対象者の性別 (n=48)

### (2) 主食の炊き方について（ご飯、粥の複数回答可）

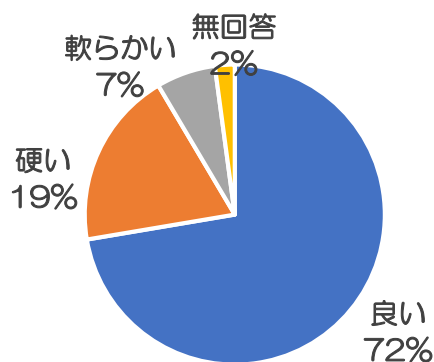


図2-1.ご飯の炊き方 (n=47)

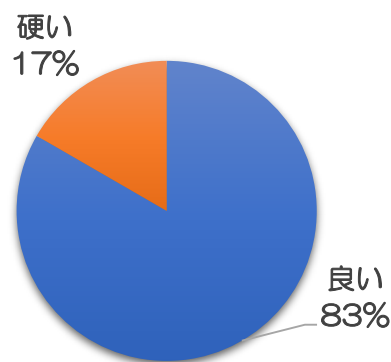


図2-2.粥の炊き方 (n=6)

### (3) 副食について

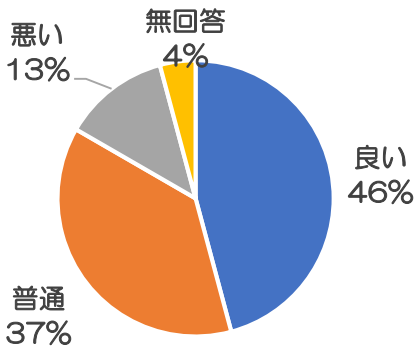


図3-1.おかずの味付け (n=48)

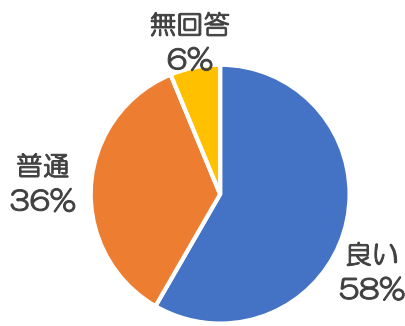


図3-2.おかずの彩り (n=48)

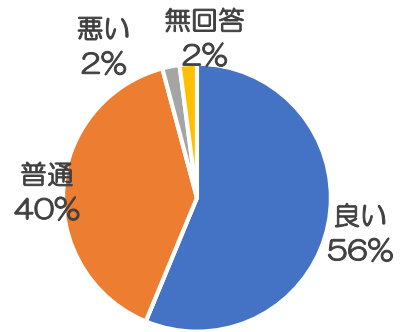


図3-3.おかずの盛付 (n=48)

### (4) 食事全体の満足度

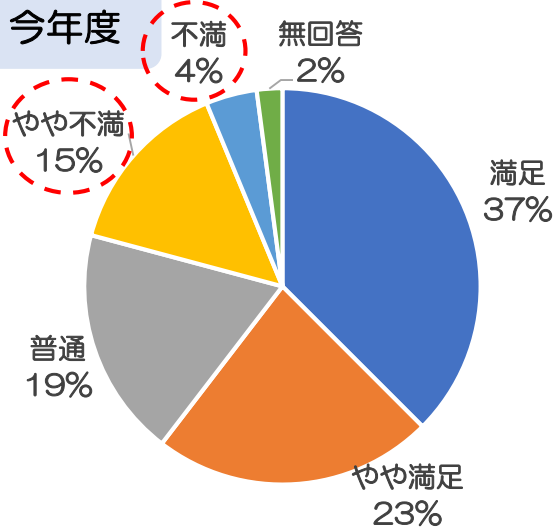


図4-1.食事全体の満足度 (n=48)

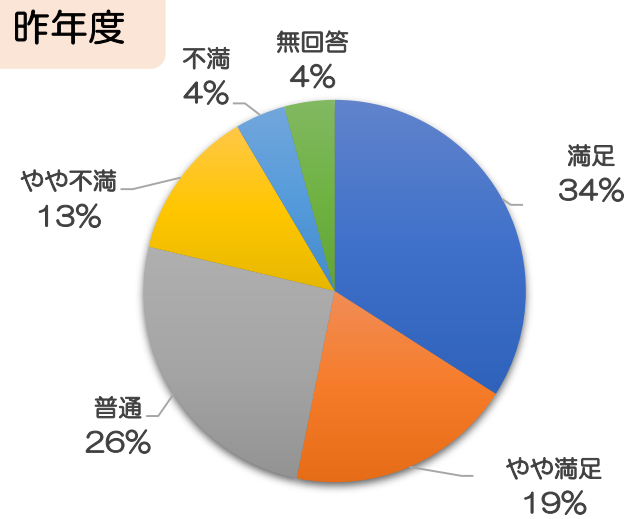


図4-2.食事全体の満足度 (n=47)

不満 (2名)、やや不満 (7名) と回答された方のご意見

- ・ 10歳未満の子供向けでない、味が濃い (2名)
- ・ 量が少ない (1名)
- ・ 味が薄い、口に合わない (5名)

#### ○ご意見・ご要望

- ・ 量が少ない (2名)
- ・ 味付けがもう一歩、薄い、自分に合わない (4名)
- ・ 食器がきれいです、花模様などがあって見るのも楽しい
- ・ 選べる食事が良い
- ・ 薄味だが工夫で賄っていると思う
- ・ 現状で十分 (2名)

#### ○病院食で食べてみたい料理

- ・ 麺類 (2名)
- ・ アップルパイ
- ・ カレーうどん
- ・ ドライカレー
- ・ 野菜ゴロゴロカレー
- ・ お好み焼き
- ・ オムライス
- ・ 3時のおやつ

## (5) 選択食メニューについて

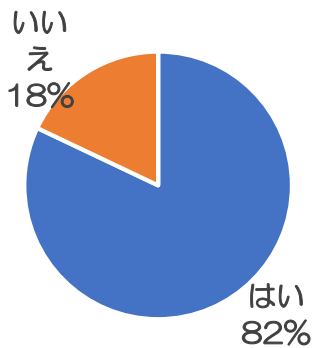


図5-1. 選択食メニューを知っているか  
(対象者のみ, n=39)

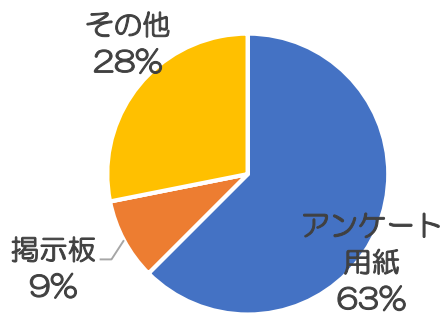


図5-2. 選択食メニューを知ったきっかけ  
(対象者のみ, n=32)

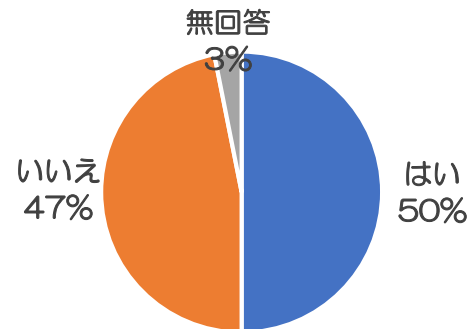


図5-3. 選択食メニューを選んだことがあるか  
(対象者のみ, n=32)

### ○ 選択食を選んだ理由

- ・ 通常食よりも味が良い
- ・ 麺類を食べたかったから
- ・ おいしそうだったため
- ・ 少しの贅沢
- ・ 好物ばかりで嬉しかった
- ・ 病院で食べれないものを食べれる
- ・ 食べたいものがあった

### ○ 選択食を選ばなかった理由

- ・ メニューが何かわからない
- ・ メニューを見るタイミングが食欲とあってない
- ・ プラスで50円だすほどではない
- ・ 出されるメニューで満足しているから (5名)

## 7. 考察・今後の取り組み

主食の炊き方について、ご飯で約70%、粥で80%の方が「良い」と回答した。おおむね患者様に適した主食が提供できていると考えられる。しかし、「硬い」や「軟らかい」というご意見もあったため炊飯の水準を一定にすることが求められる。また、患者様の咀嚼嚥下機能を考慮した主食選択をすることも重要であるとする。

副食については、彩りや盛付などの見た目に関する項目で約90%以上の方が「良い」・「普通」と回答した。その一方で、味付けに関しては約80%の方が「良い」・「普通」と回答し、13%の方が「悪い」と回答した。

また、食事全体の満足度に関しては、約80%の方が「満足」・「やや満足」・「普通」と回答した。昨年度の結果と比し著変はなかった。おおむね患者様に適した食事の提供はできていると考えられる。昨年度の反省点として挙げた常菜の塩分量は月平均6.9gであり、昨年と比し0.7g増加しているものの、「味が薄い」というご意見は散見された。「不満」、「やや不満」と回答された方のうち約70%が味に不満を感じている結果となった。今後も献立内容や調味料の使用方法を検討し、より美味しい食事の提供を目指したい。

食事量に関して不満を感じている患者様もおられるため、ヒアリングを十分に実施することや可能な範囲で食事調整をする等、患者様ひとりひとりに適した食事の提供に努めたい。

選択食メニューについては、全体の約80%の方が「知っている」と回答され、多くの方に認知されている。また、そのうちの50%の方にご利用いただけていることがわかった(昨年度30%)。今後もより多くの方にご利用いただけるように、メニュー内容を充実させていきたい。